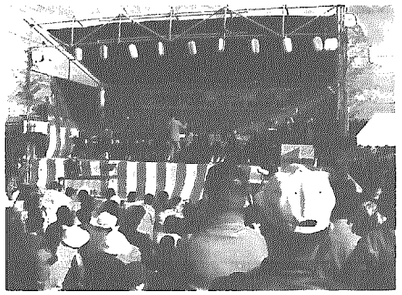
今年の横越大祭は10月1日・2日に決定

今年の横越大祭は10月1日（土）・2日（日）に決定しました。これは6月3日に行われた各地域や関係団体から選出された実行委員と区長さんで構成している運営委員会で決まったものです。

例年、各地区の郷土芸能の競演、歌謡ショーなどのステージイベント、チビッコ広場、村の特産品などの販売、姉妹村美浦村との交流が催され、最後にはフィナーレを飾る花火大会が実施されていました。



秋の花火大会について

しかしながら、10月は花火を揚げるには寒すぎるという声が多く、会議ではこのことが論議の中心となりました。

特産の農産物を活かして、子供から大人まで横越村を挙げての祭りを行おうとすると早くても10月ということになります。

また、花火だけを8月に揚げるという案も出されましたが、花火大会を分離しては全体の盛り上がりにも欠けるとの意見が多く出されました。

夏は各地で毎日のように花火大会が開催され、見飽きているが、10月の秋の夜空に揚がる花火も新鮮で、横越大祭を村外にも大きく情報発信出来る効果もあります。

このような議論を重ねた結果花火大会については例年どおりに実施することになりました。

アイデア募集

今年も、少しでも多くの皆さんから参加して楽しんでもらうための企画をしていきます。皆さんからも楽しいアイデアを募集します。実行委員会事務局（役場企画観光課）まで連絡ください。郵送の場合は住所、氏名も忘れずに記入ください。

第4回横越大祭決算（単位：万円）

収入		支出	
繰越金	56	実行委員会費	43
基金取崩	450	広告宣伝費	107
協賛金	1,135	地域協力助成金	119
内訳 花火	661	会場設営運営費	442
内訳 事業所	271	花火打上代	653
内訳 一般	203	BSNラジオフェスティバルその他	232
利息	14		69
その他	39		
収入合計	1,694	支出合計	1,665
繰越	29万円		

小学校交通安全教室

千供たちを交通事故から守ろうと六月七日横越小学校四年生一六五名を対象として交通安全教室が開かれ、警察官や交通安全指導員による自転車の正しい乗り方の実技指導が行われました。

この交通安全教室は、模擬コースでの実技訓練を通して一時停止や左右確認などの方法を正しく行い、自転車による飛び出し事故などを防止しようというものです。交通安全ルールを学んだ後、児童たちは指導員などが見守るなか、グランドに設けられた模擬道路を通って実技訓練に励みました。

この講習を受けた児童には、自転車運転免許証が発行され、村内なら何処へでも自転車で行くことができます。

心の教育フォーラムにご協力ください

この事業は学校を一つの拠点としながらも、地域や家庭を発信源にした地域ぐるみの道徳教育の振興により、心豊かな子供たちを育てようというものです。

県では平成三年度から「心の教育フォーラム」という事業を毎年県内十ケ市町村に委託しており、六年度は横越村が委託をうけました。村教育委員会では教育関係者や地域の方々を中心に「心の教育振興会議（会長は中川教育長）」を六月十三日に発足させ、事業内容について協議しました。

その結果、今まで各地域で行ってきた活動をより一層活発にすることで、学校と地域住民とが一体となって道徳教育の充実・振興を図ることになりました。

具体的取組については、①中学校、小学校での道徳授業の一般公開、②あいさつ運動の実施、③ボランティア活動、④「心の教育フォーラム」の開催、⑤広報活動などです。

一年間の指定事業ですが、地域ぐるみの道徳教育という趣旨の下、家庭、学校、地域の在り方や役割を、お互いしっかりと認識した上で事業を推進していきます。

村民みなさんの一層のご理解とご支援をお願いします。

心の教育標語募集

心の教育振興会議では、あいさつ・思いやり・優しさ等、道徳的内容の標語（十七文字）を募集しています。入選作品は「心の教育」事業を進めるために広く活用されます。

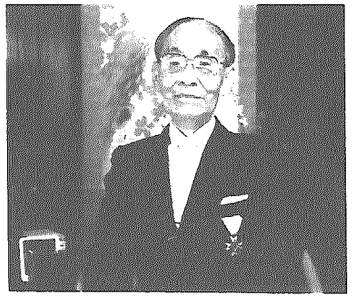
▽締切　7月15日
▽投稿先　中央公民館

叙勲おめでとうございます

大町繁太郎さん（沢海）が四月二十八日、郵政功労者として勲五等瑞宝章を受章されました。

大町さんは、昭和十八年から昭和五十年まで三十三年間沢海特定郵便局長として勤務され、この間、下越南地区の理事を二十年以上勤めるなど郵政事業の発展に尽力されました。この顕著な功績でこのたび88歳を迎えるにあたり叙勲の栄誉に輝きました。

なお、大町さんからは叙勲の記念として村に十万円の寄付がありました。村では社会福祉に役立ててほしいという大町さんのご意向に添って、村社会福祉協議会に伝達しました。



ご厚志に感謝申し上げます。

伊藤文吉さんに信越郵政局長感謝状

去る五月二十七日に新潟市の「ホテル新潟」で平成六年郵政事業表彰式が行われ、北方文化博物館々長伊藤文吉さんが郵便事業協力者として信越郵政局長から感謝状が贈呈されました。

郵政省は個人間通信の郵便を通じて、手紙文化、文字文化振興のための「お礼は手紙」運動を進めています。

伊藤館長はこの運動の新潟県初代座長に昨年五月就任されて活躍されている功績を感謝されたものです。

おめでとうございます 文化財保護功労者表彰

曽我広見さん（横越）が六月十三日、文化財保護功労者表彰を受けました。

曽我さんは、昭和四十八年の横越村文化財調査審議会発足当初から審議委員を努め、昭和六十年より同委員長に就任され、文化財の指定、保護、保存に努めるとともに、自らも郷土に関する著書を数多く出版されています。

この顕著な功績でこのたび県文化財保護連盟（伊藤文吉会長）より表彰されました。

横越西土地区画整理事業竣工

六月九日茜ケ丘公園で横越西土地区画整理事業の竣工記念碑の除幕式が行われました。

この横越西区画土地整理事業の目的は、良質な宅地を造成して横越村の中心地に居住人口七百人の市街地を造ろうというものです。これは横越村にとっても将来の「横越町」を見据えた町づくりの中核に位置づけされています。

平成四年六月に着工されて以来順調に工事も進み、8・7ha の美田は二百二十八区画の優良宅地に生まれ変わりました。現在九十八区画が分譲され、54軒ほどの住宅が建築されています。今後もこの数は急速に増えていくものと見込まれ、町制施行の条件の一つである人口一万人の達成に大きく貢献するものと思われます。

デイサービス外出事業

デイサービスセンターでは四年前から春と秋に外出事業を、村連合婦人会のボランティアの方々と一緒に行っています。

今回は北方文化博物館の「藤の花」の見物に出かけました。満開の時期は少し過ぎていましたが、ふだん家の中にいることの多いお年寄りも久しぶりの外出に満足。あたたかな日ざしに身も心も洗われ、ボランティアの方々と楽しい語らいのひとときを過しました。

特養ホーム「菅名の里」がオープンしました

四月一日、五泉市馬下保養センターの向かいに社会福祉法人中東福祉会特別養護老人ホーム「菅名の里」が開所しました。

この特別養護老人ホームは八十人定員で横越村の方も三人入所しています。

施設整備にあたっては、県・日本自転車振興会（競輪）の補助金や、横越村を含む構成十一市町村の負担金などにより建設されました。